

新しいことにチャレンジする笑顔いっぱいの学校

三島竹島学園で学ぼう!

【しおかぜ留学生募集用学校案内】



三島村立三島竹島学園

〒890-0903 鹿児島県鹿児島郡三島村大字竹島43番地

TEL 09913-2-2002

FAX 09913-2-2003

Mail takeshima-avp@mishimamura.jp



【子どもたちによる公式Instagram】

アカウント: [mishima_takenoko](https://www.instagram.com/mishima_takenoko)

1 三島竹島学園の位置

三島竹島学園のある竹島は鹿児島市から南南西へ海路94kmの距離にあります。その名の通り島全体がリュウキュウチク（大名竹）に覆われた周囲12,8km人口62人（2022年4月1日現在）の自然豊かな島です。鹿児島市からフェリーみしまで約3時間の距離にあり、三島村の中では一番近い場所にあります。



2 三島竹島学園の概要

令和4年度は義務教育学校として開校3年目。1年生～6年生前期課程6名、7年生～9年生後期課程5名のアットホームな学校です。教育目標「心豊かでたくましく笑顔いっぱいの子どもを育てる」のもと、全校生徒一人一人が自分らしさを生かして活躍できる学校です。

3 三島竹島学園の教育

「極小規模校のよさ」を最大限に生かした9年間の「学び」をつなぐ取組

- 義務教育学校前期課程から段階的な教科担任制の実施
- 異学年編成による体験学習の充実
- 9年間を見通したカリキュラム（指導計画）の編成・実施
- 英語教育・ICT活用の充実

日本で一番小さな「ジオパーク」三島村を題材とした「地球科」（ジオ科）の推進

※ 「総合的な学習の時間」を「地球科」として位置付け、三島村の特性を最大限に生かした特色ある小中一貫教育を推進します。

- ハマギプロジェクト
- 筍採り
- ジャンベ活動

少しだけ本学園の自慢をしちゃうぞ。

- 一人一台 iPad（児童生徒全員、Apple Pencil もついてるよ。）
 - 全教室 Wi-Fi 完備
 - 遠隔教育システムの先進的実践（村内の学校との合同遠隔授業や海外の学校との遠隔交流学習も行っているよ）
 - 英語教育の充実（島にALTが常駐し、英語や外国語活動の時間はもちろん日常的にALTと会話できるよ！）
 - YouTube 限定公開（学校行事等の動画を保護者だけに見せます！）
 - インスタグラム投稿による表現力向上（月1回の「インスタ映え」賞！）
 - ホームページによる情報発信
- 他にも、ギニアとのジャンベ交流、大名筍採り、釣り遠足、・・・など、楽しいことがいっぱい！

Instagram オリジナル
マスコット



仮面神も見守ります！



特色ある教育活動

◎◎ 1 学期 ◎◎

● 筍採り

竹島全体を覆う大名竹は美味で知られ、5月～6月は島をあげての出荷に追われます。本校では恒例となった学校行事で毎年5月に2回実施しています。採った筍は、学校給食用として年間を通して味わい、子どもたちの大好きな食材の一つになっています。



● 海での水泳学習

6月～7月にかけて水泳学習が行われます。学校にプールがないので、港の湾内で毎年実施しています。透き通った素晴らしい自然のプールで行う水泳学習は子どもたちの楽しみの一つでもあります。それぞれが自分の目標に向かって練習を行い、水泳発表会では、地域のみなさんが見守る中、成長した姿を見せてくれました。

● 読書まつり

本校では、朝の読書など読書活動に重点をおいており、R4年度は7月5日に前期課程・後期課程合同で読書まつりを行いました。

各学級、自分たちで企画し、読み聞かせや読書クイズ、本の紹介など毎年内容の充実した活動が行われています。義務教育学校のよさが実感できる活動の一つです。



● ハマギプロジェクト

R2年度新たに立ち上げた取組です。島の恵みを活かした持続可能な地域づくりへの貢献活動を通して、自分たちと地域の関わりについて学習することを目標にしています。竹島に自生する島の特産品であるハマギについて学び、島の新しい特産品としてハマギ餃子をプロデュースしました。今後、さらに広がりが予想されるジオ科の活動です。



●遠隔授業

本校では、村内の4つの学校をつないでの遠隔授業を日常的に行っています。合同の行事でしか顔を合わすことが難しい村内の友達と受ける授業をみんな楽しみにしています。また、ベトナムや岐阜県などとも交流する遠隔授業を行っています。少人数であっても、相手を意識した発表や双方向でのコミュニケーションができる環境もあり、自分自身の力を伸ばしていける学校です。



◎◎ 2 学期以降 ◎◎

●ジャンベ活動

ジオ科の時間や音楽の時間にギニアの楽器“ジャンベ”の演奏に取り組んでいます。運動会を始め、いろいろな場で演奏を披露しています。毎年、7月に行われる夏の祭典に後期生は出場します。令和4年度も見事、金賞を獲得しました。



●竹島大運動会

毎年9月に学校と地区の合同の運動会が盛大に行われます。練習から当日の運営まで一人一人が主役となって進められます。

地域の方々も一緒になって楽しい一日を過ごします。

●釣り遠足

釣り遠足の魚釣りでは目の前で泳ぐ大きな魚を釣り上げようと仕掛けを工夫しながら皆、真剣な表情で挑戦します。また、みしまⅡで竹島外洋のクルージングも実施し、日頃見ることの出来ない籠港などを見ることが出来ます。





● 学習発表会

毎年 10 月末に行われる学習発表会。今年は、前期生は劇や各学級の発表を、後期生は劇や理科の発表を行います。また、全員での合奏など日頃の学習成果を力を合わせて発表します。小さな学校なので、本番当日まで他の学年の発表は見ないという暗黙のルールがあります。一人一人が活躍する楽しい行事です。

● 地域の食材たっぷりの給食

毎年、学校給食週間において、竹島でとれた魚や筍採りで収穫した筍を使ったメニューが登場します。左のメニューは筍ミートスパ、カラフルマリネ、冷凍パイナップルです。「その地域でとれた食材をその地域で食べる」地産地消の取組が学校給食でも進められています。



● 地域の方々との交流活動

竹島では70歳を越える高齢者が全島民の約5分の1に達します。敬老会をはじめとする多くの行事を通して、島内には高齢者を敬う雰囲気自然に根付いています。

このように子どもたちが高齢者を身近に感じることができる様々な体験学習を行っています。

● 地域総出の出発式 (島立の日)

島内に高校がないため後期課程卒業後は進学のために島を離れなければなりません。卒業生に対する感謝の気持ちとこれから始まる島外での新しい生活に向けて、島民から温かいエールが送られます。また出発の日は島民総出で、「島立」の出発式を行います。

